

東海大学文学部 広報メディア学科主催 講演会

# 自治体広報の新しい潮流

## デジタル・ネットワークと市民参加

21 世紀を迎え、自治体と市民との関係は大きな転換期に差し掛かっています。長引く低成長による、困難な財政問題や合併論議ばかりがクローズアップされているように見えますが、その一方で、市民との協力関係によって築かれる新しい自治体の姿を模索する活動も広がりつつあります。

この新たな潮流を支えているのが「広報」「広聴」活動です。さらに近年、この両活動の関係を緊密に結ぶ「デジタル・ネットワーク」の活用にも、注目が集まりつつあります。

そもそも自治体広報とはどういう仕事なのか、そしてその課題はメディアの活用やデジタル化の影響についてどのように考えているのか、身近なようでなかなか知る機会に乏しい「自治体広報の“今”」の姿を、実際に携わる担当者のお話から学んで行く、またとないチャンスです。

講師の高橋輝子氏は、現在、千葉県総合企画部広報グループの副主査を務める、自治体広報へのデジタル技術の活用に関する第一人者です。高橋氏のお話をもとに、21 世紀の新しい行政と市民のコミュニケーションの在り方を探っていきたくと考えています。



プロフィール 高橋輝子(たかはしてるこ)千葉県総合企画部報道監広報グループ副主査

1967 年生まれ、千葉縣市原市出身。

早稲田大学教育学部卒業後、1991 年千葉県庁へ入庁。君津支庁税務課、人事委員会事務局、社会部児童家庭課等を経て、1998 年 4 月～2001 年 3 月まで企画部企画政策課に所属し、千葉県情報化構想の策定や、インターネット博覧会(インバク)千葉県パビリオン「万来食催館」などを担当。2001 年 4 月～2003 年 3 月、東京大学大学院修士課程で自治体の情報政策を研究。2003 年 4 月より、総合企画部報道監広報グループの広報企画担当として、県の広報計画の立案等を担当。今年 4 月からはインターネット担当として、県のホームページとメールマガジンを担当している。

### ～ 開催概要 ～

日時 2004 年 6 月 11 日(金) 16:50～18:20  
 会場 東海大学湘南校舎 14 号館 202 番教室 入場自由・無料  
 問合せ 東海大学文学部広報メディア学科事務室 0463-58-1211 (内線 3158)